



森林環境譲与税を 活用した 取組事例集 2025



森林環境税と森林環境譲与税

森林を守り、育て、活かす、
35市町の実践

市町を支援する
県の取組

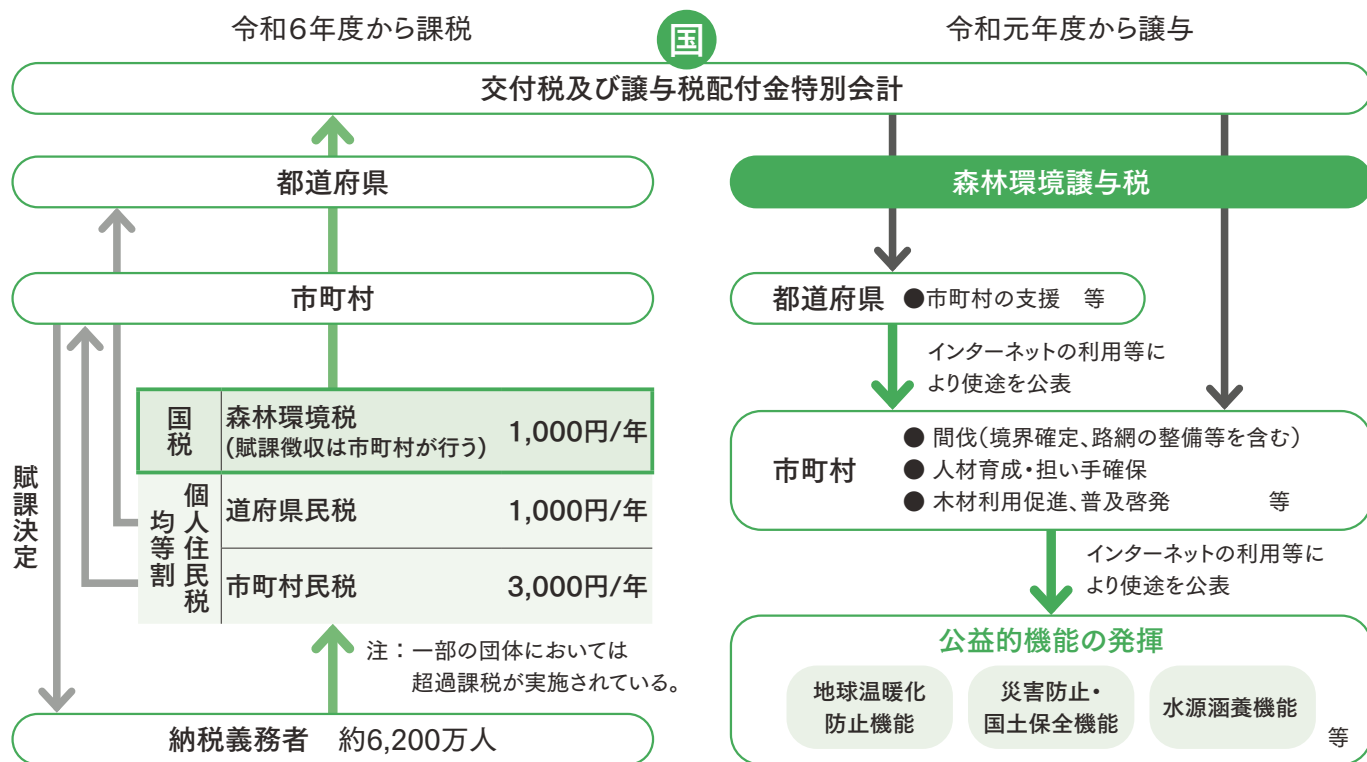
森林環境税と
森林づくり県民税

静岡県

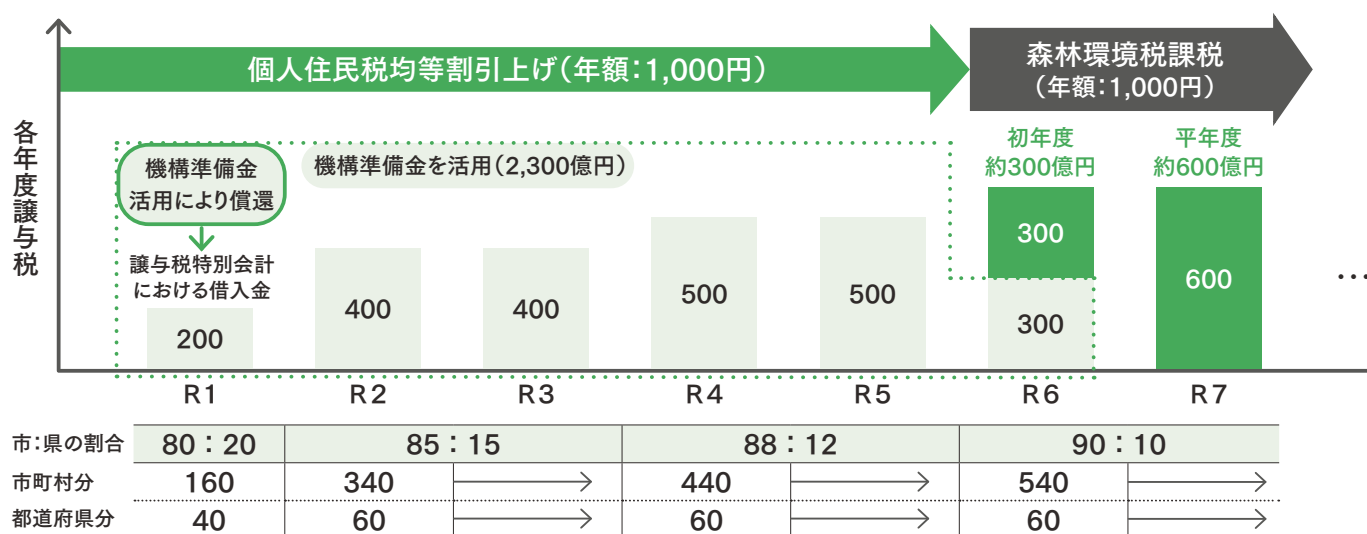
森林環境税及び森林環境譲与税について	2
森林環境譲与税の譲与基準及び譲与額（市町分）	3
森林環境譲与税の活用区分別実績（市町分）	4
市町の取組	
森林整備	
意向調査や森林整備の準備作業	
No01 無人ヘリによる森林計測・解析（磐田市）	5
No02 森林経営管理制度の全体計画作成（伊豆の国市）	6
意向調査、集積計画等作成	
No03 高精度森林情報を活用した集積計画・配分計画の作成（御殿場市）	7
私有林整備	
No04 森林経営管理制度に基づく森林整備①（熱海市）	8
No05 小規模な森林整備に対する支援（富士宮市）	9
No06 森林経営管理制度に基づく森林整備②（伊東市）	10
No07 林道沿い等の森林整備（焼津市）	11
No08 森林経営管理制度に基づく森林整備③（藤枝市）	12
No09 森林経営管理制度に基づく森林整備④（下田市）	13
No10 荒廃した竹林や広葉樹等の整備（湖西市）	14
No11 竹林整備に対する支援（伊豆市）	15
No12 史跡周辺の森林整備（牧之原市）	16
No13 城山公園の修景伐（河津町）	17
No14 常緑広葉樹から落葉広葉樹への樹種転換（南伊豆町）	18
No15 里山林の整備（松崎町）	19
No16 地域の実情に応じた森林整備（西伊豆町）	20
No17 森林経営管理制度に基づく森林整備⑤（清水町）	21
No18 森林経営管理制度に基づく森林整備⑥（小山町）	22
森林保護対策	
No19 ドローンを活用した松くい虫被害状況の把握（沼津市）	23
No20 シカ防護柵点検等の実施（掛川市）	24
No21 松くい虫防除のための無人ヘリコプター薬剤散布（御前崎市）	25
No22 松くい虫防除に向けた伐倒駆除及び薬剤散布（東伊豆町）	26
No23 松林の支障木及び枯れ木の伐採（吉田町）	27
林道・林専道の整備等	
No24 林道大日陰線における路肩法面の補修（裾野市）	28
No25 林道・作業道の維持管理（川根本町）	29
人材育成・担い手確保	
林業就業者の育成	
No26 天竜林業イノベーションの推進（浜松市）	30
担い手確保に向けた取組	
No27 林業就業者の人材確保（富士市）	31
木材利用・普及啓発	
木造公共建築物等の整備・内装木質化	
No28 静岡ぬくもりの空間推進（静岡市）	32
No29 公共施設の木質化による木材利用（島田市）	33
No30 公立幼保施設新園舎への木材利用（菊川市）	34
No31 公共施設の木質化（森町）	35
普及活動等	
No32 市産材を活用した木育・地育の推進（三島市）	36
No33 森林ESD出前授業（袋井市）	37
No34 生涯学習の推進（函南町）	38
No35 幼稚園・保育園・認定こども園の年長児を対象にした間伐体験プログラム（長泉町）	39
県の取組	
森林整備アドバイザーの派遣	40
林業の担い手の確保・育成	40
その他	
森林環境税と森林づくり県民税	41

森林環境税及び森林環境譲与税について

- ・パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。
- ・森林環境譲与税は既に令和元年度から譲与が開始されており、各市町で地域の実情に応じた森林整備等に活用されています。また、森林環境税は令和6年度に課税開始となりました。



- ・令和元年度から令和6年度までは、市町村の体制整備の進捗に伴い、徐々に増加するように譲与
- ・森林整備を実施する市町村の支援等を行う役割に鑑み、都道府県に対して総額の1割を譲与



譲与基準

市町村分	55%:私有林人工林面積 20%:林業就業者数 25%:人口
都道府県分	市町村と同じ基準

※以下のとおり林野率による補正

林野率	補正の方法
85%以上の市町村	1.5 倍に割増し
75%以上 85%未満の市町村	1.3 倍に割増し

森林環境譲与税の譲与基準及び譲与額（市町分）

市町名	私有林人工林面積 (ha)	林業就業者数 (人)	人口 (人)	譲与額 (円)	
	2020 農林業センサス	国勢調査（R 2）	国勢調査（R 2）	R 5	R 6
静岡市	41,143	299	693,389	283,310,000	370,452,000
浜松市	56,524	456	790,718	325,712,000	424,038,000
沼津市	3,215	44	189,386	36,244,000	43,672,000
熱海市	786	1	34,208	6,184,000	7,505,000
三島市	1,201	12	107,783	16,772,000	19,641,000
富士宮市	11,631	92	128,105	63,136,000	83,033,000
伊東市	2,615	14	65,491	17,066,000	21,538,000
島田市	12,456	85	95,719	61,322,000	81,756,000
富士市	6,613	86	245,392	58,820,000	72,826,000
磐田市	984	15	166,672	22,686,000	25,841,000
焼津市	215	4	136,845	15,566,000	17,041,000
掛川市	6,143	34	114,954	36,184,000	46,443,000
藤枝市	5,692	28	141,342	36,662,000	46,287,000
御殿場市	2,620	49	86,614	24,352,000	30,440,000
袋井市	278	0	87,864	10,060,000	11,084,000
下田市	1,962	55	20,183	18,054,000	23,801,000
裾野市	3,962	27	50,911	21,640,000	28,292,000
湖西市	597	6	57,885	8,792,000	10,253,000
伊豆市	7,684	86	28,190	46,674,000	63,435,000
御前崎市	323	4	31,103	4,842,000	5,663,000
菊川市	838	9	47,789	8,924,000	10,747,000
伊豆の国市	1,823	5	46,804	11,328,000	14,258,000
牧之原市	1,817	2	43,502	10,530,000	13,303,000
東伊豆町	1,019	8	11,488	5,550,000	7,292,000
河津町	1,834	7	6,870	9,198,000	12,639,000
南伊豆町	2,038	31	7,877	13,604,000	18,391,000
松崎町	2,410	18	6,038	13,048,000	17,912,000
西伊豆町	2,623	9	7,090	14,368,000	19,910,000
函南町	1,846	7	36,794	10,642,000	13,610,000
清水町	40	0	31,710	3,442,000	3,732,000
長泉町	393	5	43,336	6,486,000	7,531,000
小山町	2,051	25	18,568	11,982,000	15,823,000
吉田町	5	0	28,919	3,040,000	3,264,000
川根本町	11,785	53	6,206	63,688,000	88,912,000
森町	6,374	22	17,457	24,972,000	34,302,000
計	203,540ha	1,598人	3,633,202人	1,324,880,000円	1,714,667,000円

森林環境譲与税の活用区分別実績（市町分）

市町名	森林整備 （間伐・路網整備等）		人材育成・確保		木材利用		普及啓発	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
静岡市	★	★	★	★		★	★	★
浜松市	★	★	★	★		★	★	★
沼津市	★	★			★	★	★	★
熱海市	★	★						
三島市	★	★				★	★	★
富士宮市	★	★					★	★
伊東市	★	★			★	★		★
島田市	★	★			★	★	★	★
富士市	★	★	★	★	★	★	★	★
磐田市	★	★				★		
焼津市	★	★			★	★	★	★
掛川市	★	★	★			★	★	★
藤枝市	★	★						
御殿場市	★	★				★	★	★
袋井市	★	★					★	★
下田市	★	★						★
裾野市	★	★				★		
湖西市		★				★		
伊豆市	★	★	★	★	★	★	★	★
御前崎市	★	★						
菊川市	★	★				★		
伊豆の国市	★	★						
牧之原市	★	★					★	★
東伊豆町	★	★						
河津町		★						
南伊豆町	★	★						
松崎町	★	★					★	★
西伊豆町	★	★						
函南町	★	★					★	★
清水町	★	★						
長泉町	★	★				★	★	★
小山町	★	★			★	★		★
吉田町	★	★						
川根本町	★	★				★	★	★
森町	★	★			★		★	★
市町数	33	35	5	4	8	18	18	21
金額(千円)	852,304	※	20,670	※	142,043	※	223,745	※
シェア(%)	69%	※	2%	※	11%	※	18%	※

※ R 6 集計中



区分：森林整備 意向調査や森林整備の準備作業

実施年度：R 5～R 6

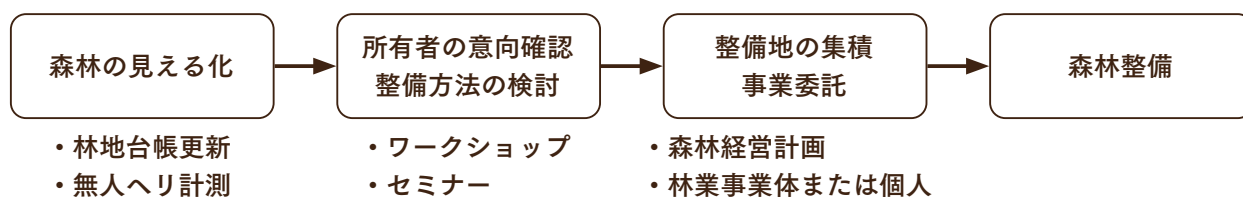
無人ヘリによる 森林計測・解析

事業の概要

- ・無人ヘリコプターを用いた高精度な森林計測方法により、森林の見える化を推進
- ・解析結果を森林所有者が参加するワークショップ等に活用し、今後の整備方法をまとめる予定

〔事業名〕 磐田市レーザ計測・森林解析業務
〔発注形態等〕 委託
〔事業費〕 R 6：5,940 千円 ※全額譲与税
R 5：3,245 千円 ※全額譲与税
〔実績〕 R 6：103.6ha
R 5： 49ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・豪雨被害を受け、地元要望のあった場所をモデル地区として実施した。
- ・静岡県立農林環境専門職大学の協力を得た。



無人ヘリコプター



レーザ計測中

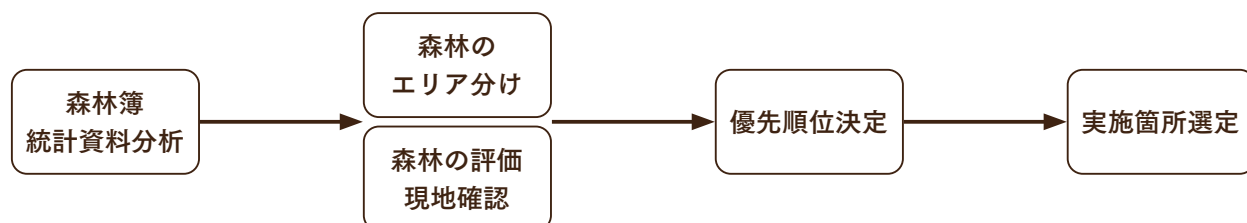
森林経営管理制度の 全体計画作成

事業の概要

- ・令和6年度から効率的に意向調査を実施するため、全体計画を令和5年度に策定
- ・市内の森林資源を分析・分類し、森林を定量的に評価
- ・市内をエリア分けし、意向調査の優先順位を決め、実施箇所を選定
- ・森林経営管理制度周知のため、併せてパンフレットを作成

〔事業名〕 森林経営管理制度全体計画作成業務
 〔発注形態等〕 委託
 〔事業費〕 R5：3,850千円 ※全額譲与税
 〔実績〕 R5：森林経営管理制度全体計画 一式

事業スキーム

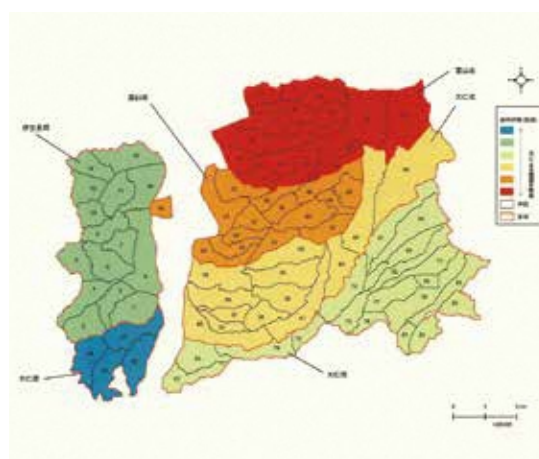


工夫・留意した点

- ・市内を順番に整備できるように、分析結果や林業事業者への聞き取りから、目標値を設定した。
- ・評価結果を基に、市内1巡目の実施箇所を選定し、今後のスムーズな制度実施を意識した。



パンフレット



市内エリア分け



優先順位

高精度森林情報を活用した 集積計画・配分計画の作成

事業の概要

- 令和4～5年度にかけて意向調査並びに現地調査を実施した深沢30林班について、経営管理権集積計画、経営管理実施権配分計画を作成
- 航空レーザ計測による森林資源解析結果を用いて、今後の森林経営管理の方向性や、調査地区の森林の現況などを「見える化」した資料として「経営プラン」を作成し、意向調査時に森林所有者へ提供（取組の効果）
- 「経営プラン」を森林所有者への意向調査説明会で活用。所有者から「山の様子が色分けされていてわかりやすい」との声をいただくなど一定の効果を上げることができた。
- 解析結果の活用により、現地調査の省力化に向けた可能性を確認できた。
- 県の伴走支援により、市の限られた人的資源の中でも森林経営管理制度の事務が遂行できた。

〔事業名〕 森林経営管理事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 6,989千円 ※全額譲与税

〔実績〕 集積計画・配分計画の作成（面積：33ha、森林所有者：38名、対象筆：102筆）

事業スキーム

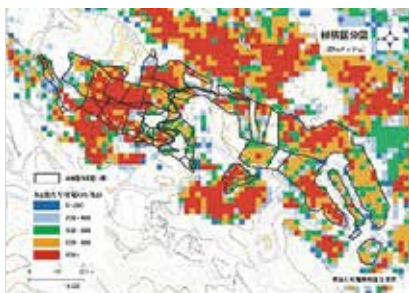


工夫・留意した点

- 県市連携型の森林管理制度の推進モデル（静岡モデル）として、県から深沢地先における航空レーザ計測の森林資源解析結果の提供を受けるなど、各種技術支援を受けながら計画作成を行った。
- 経営管理実施権の設定を受けることを希望する民間事業者5者中、3者が市外、1者が県外だったため、森林の現状を理解してもらいやすいよう、資源解析資料を提供した。また、民間事業者を選定する委員会の委員のうち、市職員以外の委員（県職員と森林管理署職員）に対しても、民間事業者と同様に資料を提供した。



森林所有者への現地説明



森林資源解析結果（材積区分図）



森林所有者への経営プラン説明

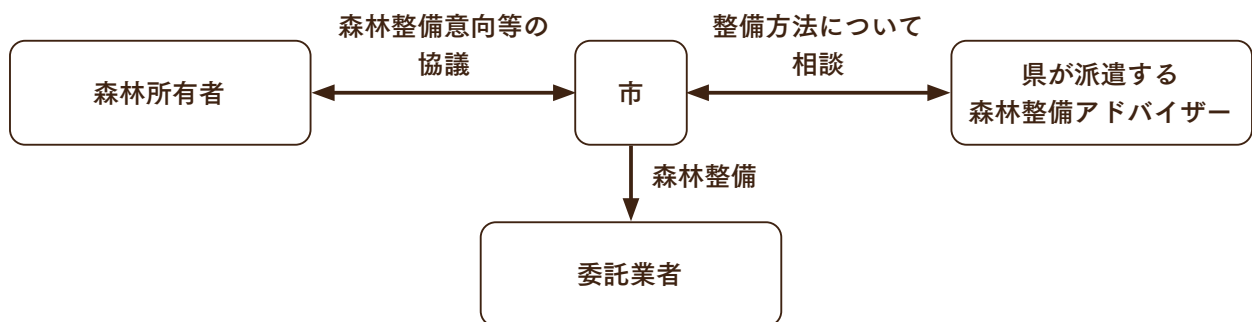
森林経営管理制度に基づく 森林整備①

事業の概要

- 意向調査において市への管理委託を希望した森林所有者と協議し、経営管理権を設定
- 経営管理権を設定した森林において、市による間伐を実施

〔事業名〕 森林経営管理制度に基づく森林整備業務委託
 〔発注形態等〕 委託
 〔事業費〕 R 6：2,884 千円 ※全額譲与税
 〔実績〕 R 6：2.07ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 森林所有者の森林整備に対する意向について確認した上で表土が流れないように伐採木を等高線状に残置するなど、災害が起こりにくい整備を進めた。
- 森林整備に対する満足度を上げるため、森林整備アドバイザーから技術的助言を受けた。



整備前

整備後

小規模な森林整備に対する 支援

事業の概要

- 市内の1ha未満の小規模森林の植栽、下刈、皆伐、除伐、間伐、境界の明確化などの補助制度を創設
- 経費の2分の1または3分の2とし、補助額は上限50万円
- 個人が所有する森林の整備推進が目的

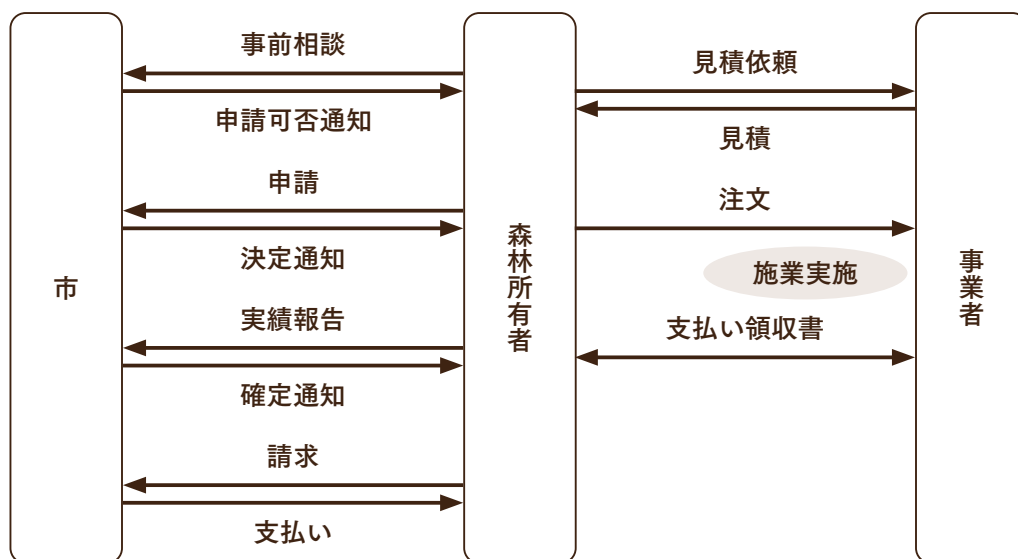
〔事業名〕 小規模森林整備事業費補助金交付制度

〔発注形態等〕 補助

〔事業費〕 R 6：6,200 千円

〔実績〕 R 6：19 件

事業スキーム



工夫・留意した点

- 森林整備を行う事業者は富士宮市内の林業育成経営体（11社）とし、申請手続きの協力依頼体制も整えた。



整備前



整備後



整備前



整備後

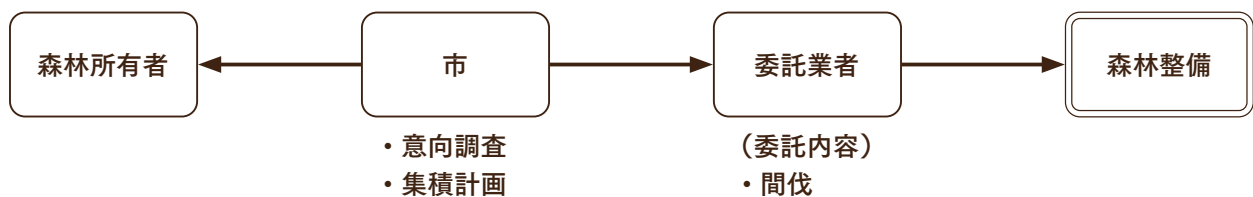
森林経営管理制度に基づく 森林整備②

事業の概要

- ・私有林人工林について、意向調査を行い、森林所有者の経営管理状況を把握し、森林経営管理制度に基づき経営管理権集積計画を策定
- ・令和5年度に森林整備方針を整備し、整備優先度を定め計画的に実施

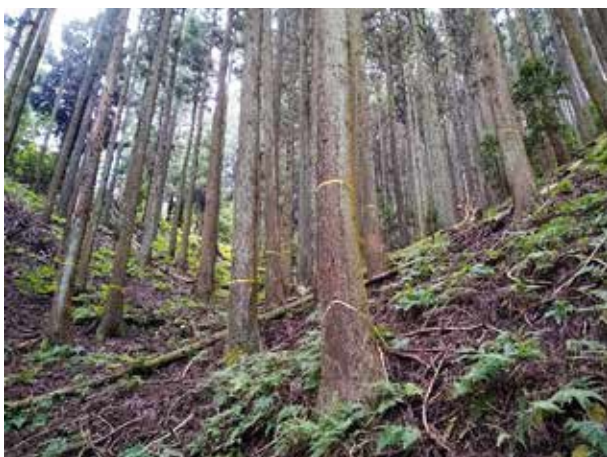
[事業名] 森林経営管理制度に基づく森林整備業務
[発注形態等] 委託
[事業費] R 6：3,168 千円 ※全額譲与税
[実績] R 6：4.06ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・市内森林の優先順位を明確にしたことで、計画的に意向調査・現地調査・集積計画・間伐を実施できた。
- ・土地の形状や搬出経路を検討した結果、切捨間伐を実施、発生した材は土砂流出防止柵として活用した。



整備前



整備後



区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 5～R 6

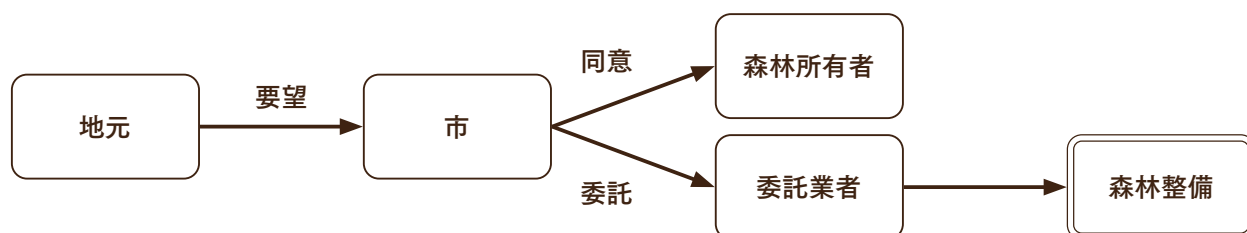
林道沿い等の森林整備

事業の概要

- 林道等に隣接している森林のうち、道路等に影響を及ぼすおそれのある立木の森林整備を実施することで、林道の寸断等の発生を予防

〔事業名〕 森林整備業務委託
〔発注形態等〕 委託
〔事業費〕 R 6：13,112 千円 ※全額譲与税
R 5：14,080 千円 ※全額譲与税
〔実績〕 R 6：0.812ha
R 5：0.22ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 自治会長に働きかけを依頼し、森林所有者に同意を得るまでの作業を効率的に行えるようにした。
- 電線の防護ほか、関係機関と協議、調整及び申請書の提出を行った。



整備前



整備後

No08

藤枝市

市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R5～R6

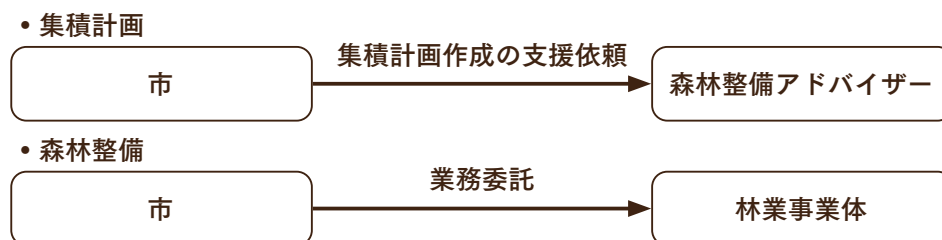
森林経営管理制度に基づく 森林整備③

事業の概要

- ・意向調査で「市に経営委託したい」と回答を得た森林において、経営管理権集積計画を策定
- ・経営管理権を設定した森林の間伐を2か年に分けて実施

[事業名] 森林経営管理制度に基づく森林整備事業
[発注形態等] 委託
[事業費] R6：9,735千円 ※全額譲与税
R5：4,356千円 ※全額譲与税
[実績] R6：8.61ha
R5：4.11ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・集積計画作成時には県が設置する森林整備アドバイザーの制度を活用した。
- ・県と連携し、航空レーザー解析結果による高精度森林情報を活用し、森林の現状の確認や森林整備の必要性を森林所有者に伝え、合意形成を円滑に実施した。



整備箇所



農林水産副大臣による現地視察（R6.9.18）



区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 5～R 6

森林経営管理制度に基づく 森林整備④

事業の概要

- ・市は私有林人工林について、各地域の現状を踏まえ、森林所有者の経営管理状況を把握し、森林経営管理法に基づく森林の整備を進めていく方針
- ・令和2年度に作成した全体計画に基づき、森林整備の優先度が高い地域から意向調査、集積計画の作業を経て令和5年度から森林整備に着手
- ・令和6年度は森林整備と並行し、他地域でも優先度を考慮し、意向調査を実施

【事業名】 下田市森林経営管理整備業務

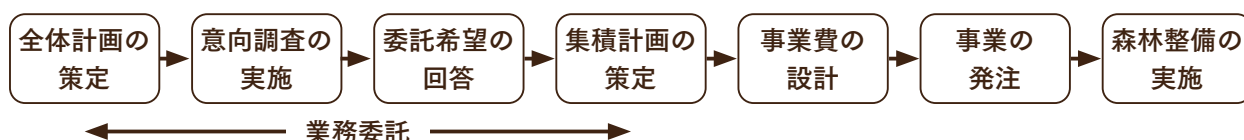
【発注形態等】 委託

【事業費】 R 6：6,446 千円 ※全額譲与税
R 5：4,994 千円 ※全額譲与税
※いずれも優先順位第1位の地域

【実績】 R 6：整備面積 0.919ha 伐採本数 885 本
R 5：整備面積 0.3ha 伐採本数 85 本

【その他】 R 6は森林整備に合わせて優先順位第2位の地域において意向調査を実施した。
実施面積 644.76ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・各工程を外部業者へ委託することにより、マンパワー不足を解消
- ・意向調査は、より多くの森林情報を得るため、未回答の方に再送し、回収率をアップ
- ・森林整備後は、森林環境譲与税を活用し、整備した旨のPR看板を設置



整備前



整備後

No10
湖西市
市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 6

荒廃した竹林や 広葉樹等の整備

事業の概要

- 荒廃森林が増え、倒木被害・土砂災害の発生等の危険性が高まっていることから、令和2年度に新たに補助事業を創設
- 令和3年度から補助制度の運用を開始
- 令和6年度は、自治会等から要望のあった森林について、計0.02haの森林整備を実施

【事業名】 湖西市森林保護整備事業

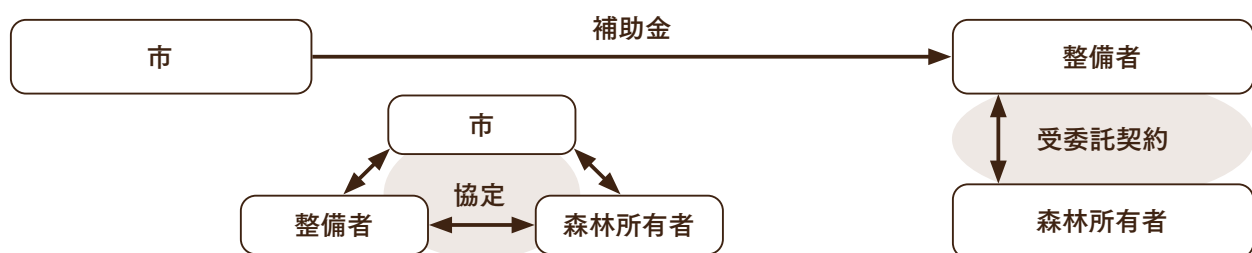
【発注形態等】 補助

【事業費】 R6：3,390千円 ※全額譲与税

【実績】 R6：広葉樹整備 0.02ha

【その他】 R3：竹林整備 0.13ha 広葉樹整備 0.07ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 補助事業の創設や運用にあっては、県が派遣する森林整備アドバイザーや県農林事務所に意見等を伺って進めている。

R 6 事業
湖西市神座地区



整備前



整備後

No11 伊豆市

市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 6

竹林整備に対する支援

事業の概要

- 竹林の環境整備の推進及び放置竹林の拡大防止に対する補助金

〔事業名〕 竹林整備事業
〔発注形態等〕 補助金
〔事業費〕 R 6：1,000 千円 ※全額譲与税
R 5：2,000 千円 ※全額譲与税
〔実績〕 R 6：0.41ha
R 5：0.52ha

事業スキーム

- 補助対象者：林業事業体または市内に森林（竹林）を所有する者
- 補助対象：①竹林皆伐事業
②竹林整備に係る機械資材導入事業
③その他竹林整備に必要と認めた事業
- 補助額：① 2,000 千円／ha
②事業費の1／3以内
③事業費の1／3以内
- 補助の流れ：交付申請→決定通知→事業実施→実績報告→確定通知→請求→補助金交付

工夫・留意した点

- 小規模な放置竹林にも対応出来るよう皆伐事業の下限面積を 0.01ha とした。



整備前



整備後

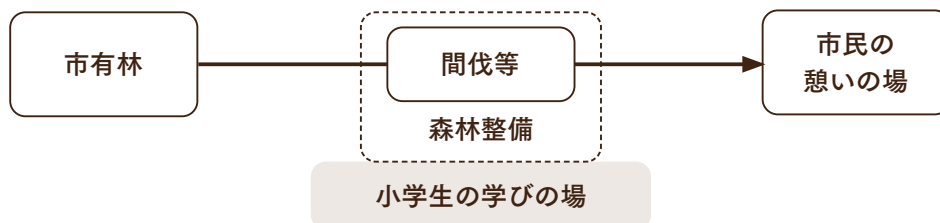
史跡周辺の森林整備

事業の概要

- ・県指定史跡である勝間田城跡周辺の市有林整備
- ・森林環境教育と合わせた事業の推進
- ・事業計画を策定し、複数年事業にすることで、市の財政負担の平準化を図る

〔事業名〕	勝間田城跡周辺森林整備事業
〔発注形態等〕	設計委託、請負工事
〔事業費〕	R 6：4,972 千円 ※全額譲与税
	R 5：4,906 千円 ※全額譲与税
〔実績〕	R 6：除伐 50 本
	R 5：除伐 37 本
〔教室開催〕	R 6：6 回
	R 5：6 回

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・市内の小学6年生を対象とした森林環境教室で、森林整備の経過段階を見せながら、森林の機能、役割や成り立ちなどについて学ぶ場を定期開催している。



森林環境教育の実施



森林ウォーキング

No13 河津町

市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 6

城山公園の修景伐

事業の概要

- ・ 笹原区城山公園の景観維持を目的とした修景伐
- ・ 山頂から河津町を一望できるようになり、観光資源としての価値向上にも寄与

〔事業名〕 城山森林整備業務委託

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6：2,750 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 6：森林整備（修景伐）0.24ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 一部保安林を含む箇所は、伐採ではなく枝条の整理を行うことで、災害予防と景観維持を両立させた。
- ・ 山頂までの遊歩道整備と同時期に行い、全体的な観光資源としての価値を高めることができた。



整備前



整備後



区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 5

常緑広葉樹から 落葉広葉樹への樹種転換

事業の概要

- 林冠が閉鎖している森林に対して、常緑広葉樹を落葉広葉樹に樹種転換し、林内照度の確保と落葉による森林の保水力向上を目的とした事業

【事業名】 青野上条山森林整備業務委託

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 5：4,895 千円 ※全額譲与税

【実績】 R 5：常緑広葉樹伐採 0.21ha
落葉広葉樹植栽（クヌギ） 0.21ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 健全な成長が見込まれる落葉広葉樹などを残すことにより、極力土砂流出を抑えている。
- 日照を確保することにより下草の成長を促進させている。



整備前



整備後

No15
松崎町

市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 6

里山林の整備

事業の概要

- ・山林への立入りや道路交通の支障となっている町道沿線の支障木の伐採を実施

〔事業名〕 里山林整備事業 支障木伐採業務

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6：4,646 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 6：約 1.0ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・事前に現地調査を行い所有者を確認した後、伐採同意書を取得した（R 4実施、全額譲与税を使用）。



整備前



整備後

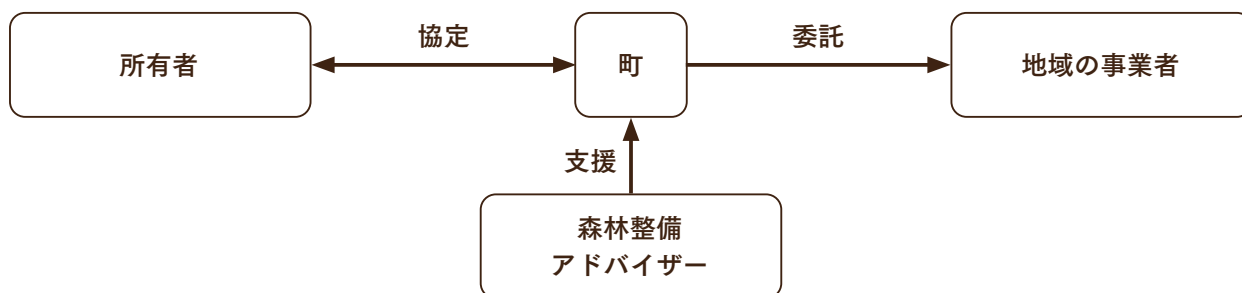
地域の実情に応じた森林整備

事業の概要

- 風倒木等が対象森林周辺に立地する西伊豆町地域防災計画に記載のある福祉避難所等へ被害を及ぼすことがないように森林整備等を行った

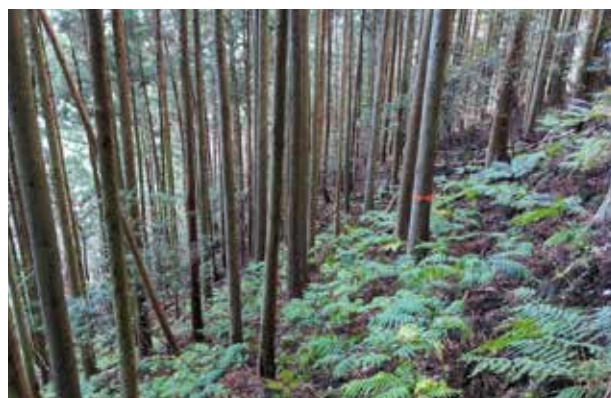
〔事業名〕 森林環境譲与税森林整備事業
 〔発注形態等〕 委託
 〔事業費〕 R 6：4,467 千円 ※全額譲与税
 R 5：6,589 千円 ※全額譲与税
 〔実績〕 R 6：0.84ha
 R 5：6.73ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 森の力再生事業の施業地と隣接している箇所であったため、一体的な施業により施業効果の効率化を図った。
- 施業地は地元自治会から落石対策の要望があった箇所で、広葉樹伐採のほかに転石防止柵、緑化基礎工を施工し、要望にあった防災面も踏まえた森林整備を行った。（R 6 事業）



作業前



作業後

No17

清水町

市町の取組

区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 6

森林経営管理制度に基づく 森林整備⑤

事業の概要

- 通園路や通学路、避難路になっている公道に隣接する森林の間伐、危険木伐採、剪定等の整備を実施
- 意向調査は直営にて実施
- 現地調査から集積計画案の作成、集積計画に基づく森林整備業務を委託

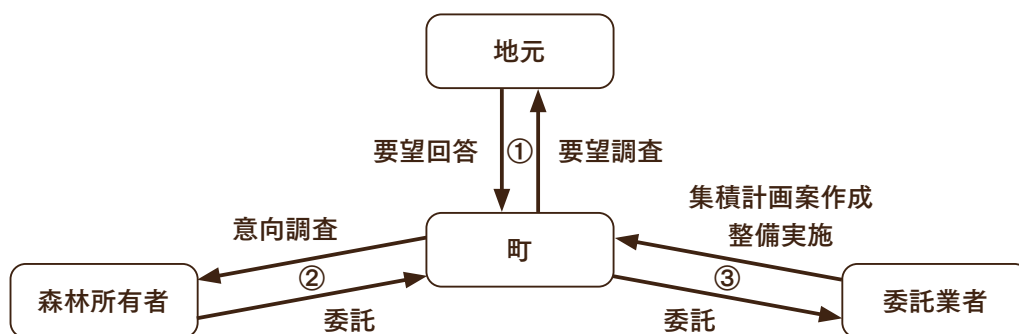
【事業名】 森林経営管理制度に基づく森林整備事業

【発注形態等】 意向調査：直営 現地調査～集積計画案作成業務：委託 森林整備業務：委託

【事業費】 R 6：1,056 千円 ※全額譲与税

【実績】 R 6：所有者2名、2筆、0.034ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 実施箇所は、地元の町内会の要望を踏まえて決定
- 対象範囲を絞り込むことで、意向調査から森林整備までを単年度で実施



整備前



整備後



区分：森林整備 私有林整備

実施年度：R 5 ～ R 6

森林経営管理制度に基づく 森林整備⑥

事業の概要

- R 1 ～ R 4 の意向調査の結果等を活用し、整備が遅れている森林の経営管理権集積計画を策定
- 町で主に劣勢木を間伐する等の森林整備を実施し、公益的機能の向上を図った

〔事業名〕 森林経営管理事業

〔発注形態等〕 直営、委託

〔事業費〕 R 6：15,260 千円 ※全額譲与税

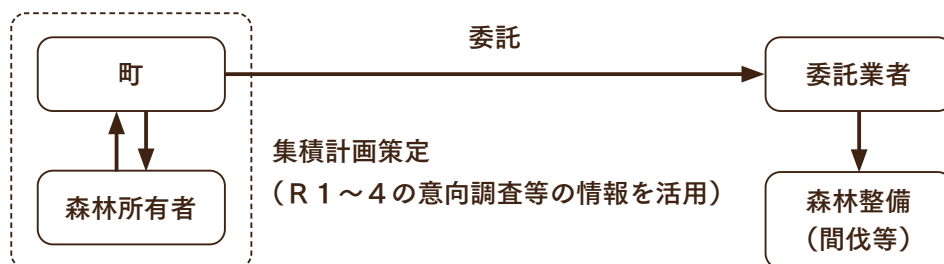
R 5： 9,603 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 6：森林整備（間伐等）6.12 ha

R 5：ドローンを使用したレーザ計測による立木調査等業務 約 186 ha

集積計画策定 0.38 ha、森林整備（間伐等）3.04 ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 意向調査を R 1 ～ 4 にかけて 4 地区に分け、町内全体で実施したことから、できるだけそれぞれの地域で森林整備を実施
- 経営管理権集積計画の策定時の基礎資料、森林整備委託事業の発注時にレーザ計測の成果を活用



整備前



整備後

ドローンを活用した 松くい虫被害状況の把握

事業の概要

- ・松くい虫による松枯れの被害状況の確認及び被害拡大防止対策を効果的・効率的に実施するためには、詳細な被害状況の把握が必要
- ・千本松原にてサーマルカメラ搭載ドローンを活用した感染初期疑い木の抽出・植栽位置の把握を実施

【事業名】 千本松原他松枯れ調査業務
【発注形態等】 委託
【事業費】 R 6：4,565 千円 ※全額譲与税
【実績】 R 6：調査面積 93.52 ha
サーマルカメラ搭載ドローンによる空撮
データ解析
松脂調査（2回）

事業スキーム

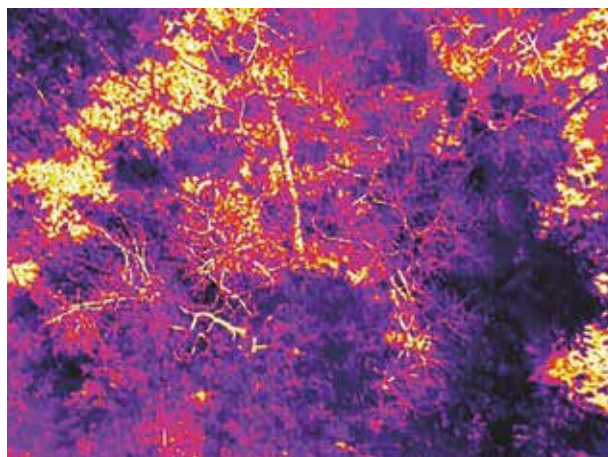


工夫・留意した点

- ・市街地に隣接するとともに、ジョギングコース等の利用者が多いことから、調査における安全性の確保に留意した。
- ・千本保安林のもつ多面的機能維持及び今後の健全育成のため、効率的、効果的手法の検討を意識した。



サーマルカメラ搭載ドローン



遠赤外線（サーマル）画像

シカ防護柵点検等の実施

事業の概要

- 防護柵等の対象地における点検及び補修に要する経費の1／2以内の補助

〔事業名〕	おかえり「森林（もり）」総合対策事業費補助金（シカ防護柵点検等事業）		
〔発注形態等〕	補助		
〔事業費〕	R 6：3,911 千円	※全額譲与税	
	R 5：3,204 千円	※全額譲与税	
〔実績〕	R 6：18.16ha		
	R 5：16.26ha		

事業スキーム



工夫・留意した点

- 点検にかかる人工（人件費）に対して、標準単価（植栽面積1 ha 当たり2組1回46,000 円）を定め助成する制度とした。
- 複数の対象箇所が隣地等の場合や傾斜が緩やかな箇所については、点検・確認による作業負担が少ないことから、補正係数を設定し助成している。



防護柵の点検



防護柵の補修

松くい虫防除のための 無人ヘリコプター薬剤散布

事業の概要

- 海岸沿いに広がる松林を、松くい虫による被害から守るため、無人ヘリコプターによる薬剤散布を実施している。
- 事業実施箇所については、高度公益機能森林を中心に現地調査を行い、散布可能箇所を選定している。

〔事業名〕 松くい虫防除事業無人ヘリコプター薬剤散布業務 委託

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6： 6,824 千円 ※一部譲与税 4,663 千円

R 5： 10,175 千円 ※一部譲与税 3,842 千円

〔実績〕 R 6： 80ha

R 5： 120ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- 市の観光資源であり、防災等公益的機能を有する松林の保全を行うことで税の使途について市民の理解を得ている。
- 地元への事前周知を十分に行うなど、事業の進め方に配慮している。



薬剤散布①



薬剤散布②

松くい虫防除に向けた 伐倒駆除及び薬剤散布

事業の概要

- 町有地にある景観上残すべき松を守るため、松くい虫の被害を受けた樹木の伐倒及び伐倒木への駆除剤の散布、残す松への予防剤樹幹注入を実施

〔事業名〕 松くい虫等防除事業
 〔発注形態等〕 委託
 〔事業費〕 R 6：5,808 千円 ※全額譲与税
 R 5：7,891 千円 ※全額譲与税
 〔実績〕 R 6：地上散布 伐倒駆除 薬剤散布 樹幹注入
 R 5：伐倒駆除 167㎡ 予防剤注入 38 本

事業スキーム



工夫・留意した点

- 松が生える公園などの利用者に配慮するため、早朝や夜間に薬剤散布を実施した。
- 薬剤散布地の近隣住民に対して事前説明と予告を行うなど、事業の進め方に配慮している。



枯木の伐倒作業



伐倒した松への薬剤散布



区分：森林整備 森林保護対策

実施年度：R 5 ～ R 6

松林の支障木及び 枯れ木の伐採

事業の概要

- ・松林（保安林）から公衆用道路へ出ている支障木の伐採
- ・松くい虫被害による枯れ木の伐採

〔事業名〕	保安林等環境維持業務委託		
〔発注形態等〕	委託		
〔事業費〕	R 6	2,057 千円	※全額譲与税
	R 5	1,595 千円	※全額譲与税
〔実績〕	R 6	伐倒 7 本	枝打ち 16 本
	R 5	伐倒 10 本	枝打ち 10 本

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・実施箇所付近は、住宅や事業所があるため、車両の通行量が多い箇所を優先的に枝打ちを実施をした。



整備前



整備後

No24
裾野市

市町の取組

区分：森林整備 林道・林専道の整備等

実施年度：R 6

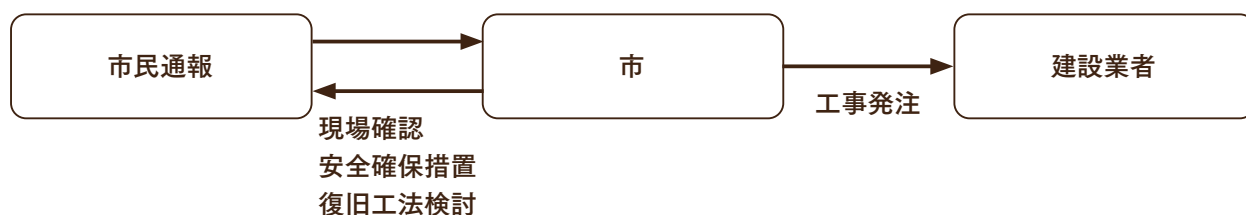
林道大日陰線における 路肩法面の補修

事業の概要

- ・森林整備のため、市単独事業として、林道改良（法面保護工）を実施

〔事業名〕 林道大日陰線改良工事
〔発注形態等〕 請負工事
〔事業費〕 R 6：1,298 千円 ※全額譲与税
〔実績〕 R 6：法面保護工 1 式

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・復旧工法の検討において、狭隘な箇所であり、迅速性を要する箇所だったため、基礎コンクリートが不要で、人力施工可能なグラウンドセルを採用した。



着工前



完成

林道・作業道の維持管理

事業の概要

- ・荒廃した町内林道・作業道の路面整正
- ・大雨、台風後の崩土除去 他

〔事業名〕 林道・作業道路面整正

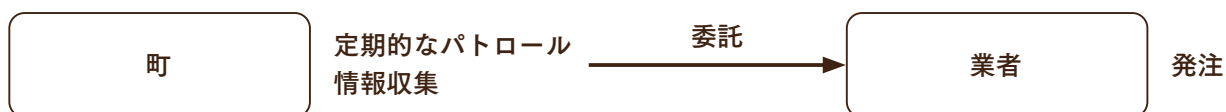
〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6：18,452 千円 ※一部譲与税 17,799 千円
R 5：19,373 千円 ※一部譲与税 6,770 千円

〔実績〕 R 6：23 路線
R 5：31 路線

事業スキーム

○林道・作業道路面整備 他



工夫・留意した点

- ・林道・作業道の定期的なパトロール
- ・森林組合、林家、業者などからの情報収集



路面整正（整備前）



路面整正（整備後）

No26
浜松市
市町の取組

区分：人材育成・担い手確保 林業就業者の育成

実施年度：R 6

天竜林業イノベーションの推進

事業の概要

- 低い生産性や高い労働災害率、遅れているDX化等といった林業特有の課題の解決に資する「天竜林業イノベーションスクール」を開講。先進林業技術導入や経営力向上等により「林業イノベーション」を加速
- 本市の若手林材業関係者に天竜林業の中枢を担う重要な役割を担っていることを再認識してもらい、次世代の天竜林業のスターを育成

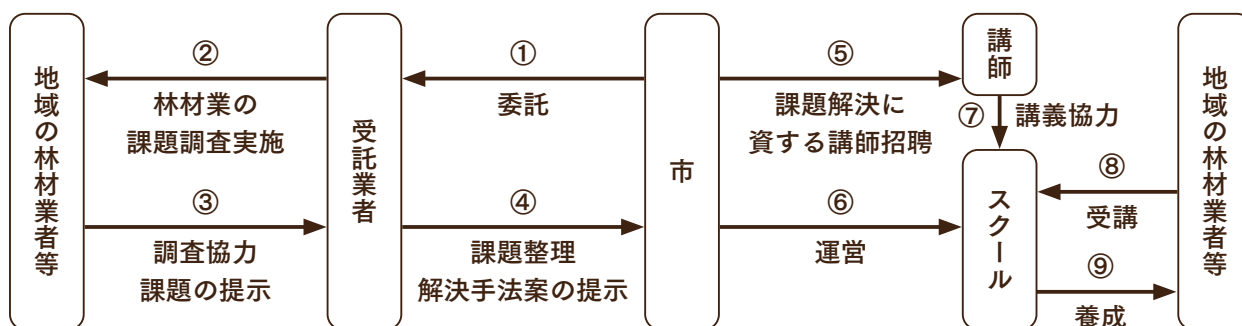
【事業名】 ①天竜林業の課題抽出及び解決検討調査業務
②「天竜林業イノベーションスクール」開催事業

【発注形態等】 ①委託、②直営

【事業費】 R 6：12,216 千円 ※一部譲与税 5,000 千円

【実績】 R 6：天竜林業の課題抽出及び解決検討調査の実施、報告書作成
天竜林業イノベーションスクールの開催（1・2回目）

事業スキーム



工夫・留意した点

- 経営コンサルに長ける専門人材を地域の林材業者等に派遣し、異業種の観点から業界特有の課題を抽出
- 異業種のプロフェッションを招聘するイノベーションスクールを通じて、地域の林材業者等のスキルアップを試みた。



天竜林業の課題抽出及び解決検討調査業務における
林業関係者ヒアリングの様子



天竜林業イノベーションスクールの様子
（速水林業 速水亨氏による基調講演）

林業就業者の人材確保

事業の概要

- ・林業就業者の確保と雇用の安定を図るため、安全装備の購入等や、新規就業者の雇用を行うことに対し、補助金を交付
- ・安全装備補助は上限3万円、他補助金額を引いた額の1/2を補助
- ・新規就業者雇用補助は上限5万円/月、他補助金額を引いた額の1/3を補助

〔事業名〕 富士市林業就業者人材確保事業費補助金

〔発注形態等〕 補助

〔事業費〕 R6：878千円 ※全額譲与税

R5：1,450千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R6：14件

R5：13件

事業スキーム



工夫・留意した点

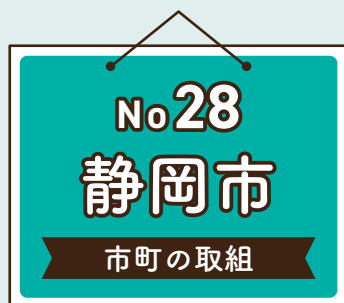
- ・対象事業体が集まる会議や打ち合わせ等で本補助制度について説明し、PRした。
- ・新規雇用を行った対象事業体に対し、本補助制度について、メールでの案内や訪問による説明を実施した。



補助金申請相談



補助金を活用した安全装備（安全靴）を着用



区分：木材利用・普及啓発 木造公共建築物等の整備・内装木質化

実施年度：R 5～R 6

静岡ぬくもりの空間推進

事業の概要

- ・オクシズ材活用協議会が実施する下記事業に対し、補助金を交付
- ・オクシズ材を活用する公益的施設及び商業施設の建築主に対し、構造材及び内装材を無償提供

〔事業名〕 静岡ぬくもりの空間推進事業

〔発注形態等〕 補助

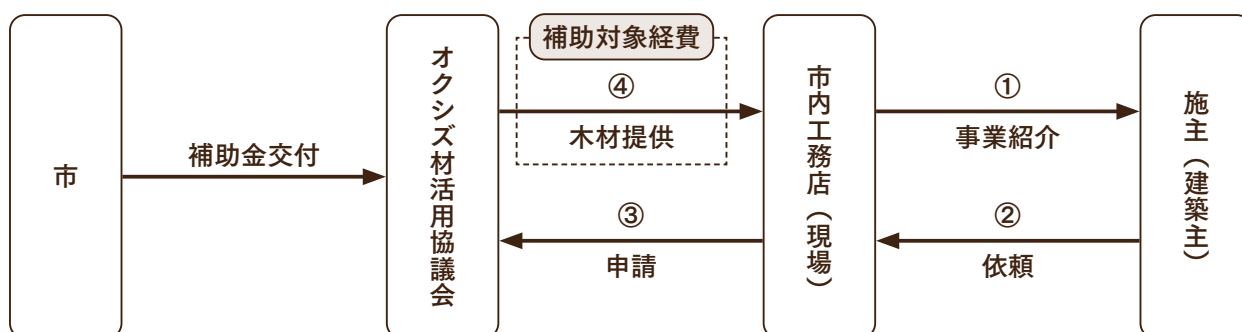
〔事業費〕 R 6：26,901 千円 ※全額譲与税

R 5：29,514 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 6：公益的施設 5 件、商業施設 5 件交付

R 5：公益的施設 8 件、商業施設 4 件交付

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・オクシズ材のPRのため、目に見える場所にオクシズ材を使用することを条件とした（商業施設の場合）。
- ・公益的施設については、使用する木材のうち森林認証材を 60% 以上使用することを条件に、上限金額を 100 万円上乗せしている。



静岡信用金庫安東支店



外観



内観



区分：木材利用・普及啓発 木造公共建築物等の整備・内装木質化

実施年度：R 5

公共施設の木質化による 木材利用

事業の概要

- 市役所新庁舎に地元産材である大井川流域産材を積極的に活用し、天井や壁のルーバー、家具のほか市役所横にある受水槽を木質化

〔事業名〕 市役所新庁舎建設に係る木質化事業

〔発注形態等〕 委託

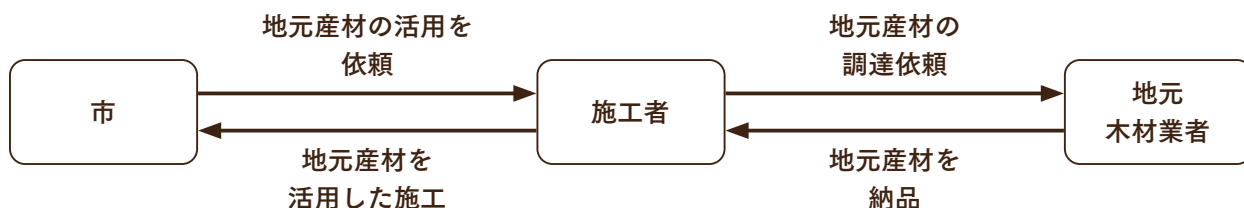
〔事業費〕 R 5：3,357,931 千円 ※一部譲与税 78,430 千円

〔実績〕 R 5：大井川流域産材使用量 111.69㎡ 天井や壁のルーバー、家具等

〔参考〕 事業費 R 4：2,975,203 千円 ※一部譲与税 6,980 千円

実績 R 4：大井川流域産材使用量 5.79㎡ 木製受水槽

事業スキーム



工夫・留意した点

- まとまった量の大井川流域産材の確保には時間を要するため、発注当初から施工者が地元木材業者等と打ち合わせを行うことで、計画的に木材を調達することができた。
- 木質化に際し、木ルーバーや家具が引き立つよう施設内の壁を左官調仕上げにするとともに、内装を落ち着いた色調とした。
- 木が持つ「温かみ」と「島田らしさ」を感じられるよう、島田市特産であるお茶の「緑茶グリーン」をアクセントカラーに取り入れた。



1 階待合スペース 天井木ルーバー



4 階議場 木ルーバー・家具



木製受水槽



区分：木材利用・普及啓発 木造公共建築物等の整備・内装木質化

実施年度：R 6

公立幼保施設新園舎への 木材利用

事業の概要

- ・公立幼保施設（認定こども園）新園舎建築工事において、内装材（額縁）や外壁の一部に県産木材を使用
- ・県産木材を活用し、森林整備の促進に寄与

〔事業名〕 菊川市立小笠北認定こども園園舎新築工事

〔発注形態等〕 請負（建築工事）

〔事業費〕 R 6：505,885 千円（建築工事費） ※一部譲与税 9,330 千円

〔実績〕 R 6：地域産材使用量 9.9m³ 外壁の一部及び内部の額縁等

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・外壁の一部に木材を使用し、周辺環境との調和を図った。
- ・内装材に木材を多く使用し、木のぬくもりを感じられるようにした。



外観



外観



内 観（保育室）



内 観（廊下）

No31 森町

市町の取組

区分：木材利用・普及啓発 木造公共建築物等の整備・内装木質化

実施年度：R 5

公共施設の木質化

事業の概要

- 公共施設等への木材利用を促進するため、改修予定であった町長室と応接室を木質化
- 木材は、森町産FSC認証材を活用

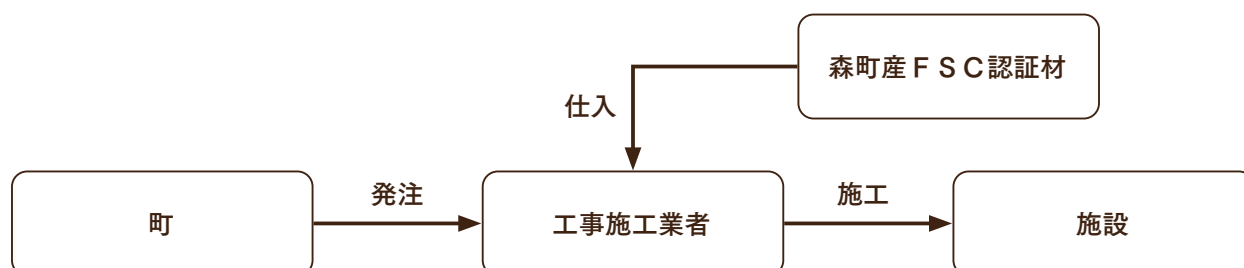
〔事業名〕 公共施設（町長室、応接室）の木質化事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R5：5,319千円 ※一部譲与税 1,964千円

〔実績〕 R5：木材使用量 15.1m³
使用箇所 内装壁面材、什器（机、棚）

事業スキーム



工夫・留意した点

- 内装について、壁全面を木質化した。
- 応接机や棚等の什器にも森町産FSC認証材を活用した。



町長室



応接室

市産材を活用した 木育・地育の推進

事業の概要

- 令和6年 11 月より生後1歳6か月の幼児を対象として健康診査時に三島市産ヒノキで製作した木製玩具を配布
- 木製玩具の配布を通し、市民が木に親しみを感じ、地域の産業や環境を考える機会を創出

〔事業名〕 木育・地育推進事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6：3,138 千円 ※全額譲与税

R 5： 355 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 配布率 88%（対象者 173 名／配布数 153 個）（R 6.11 月～R 7. 2 月）

事業スキーム

年度	現年度（R 6）	次年度（R 7）
間伐	間伐	間伐
搬出/乾燥/第1加工	次年度用木材加工乾燥委託	次々年度用木材乾燥委託
第2加工	削り出し・成形作業 ↑↓ 仕入れや納品の調整	削り出し・成形作業
第3加工・製品化	現年度三島市産木製玩具製品化業務委託	次年度三島市産木製玩具製品化業務委託
1.6 健診配布	前年度製作分配布	現年度製作分配布 次年度製作分配布

工夫・留意した点

- 1つ1つハンドメイドで製作しています。
- 三島市の特産品である三島馬鈴薯を模して製作しています。



木製玩具 配布物



木製玩具で遊ぶ子

森林E S D出前授業

事業の概要

- 市内の小学5年生の社会科の授業で、希望する小学校に林業で働くプロ（森プロ）を派遣し、林業に関する授業を行う「出前授業」を実施
- 森プロに直接質問をしたり、仕事で使う道具を実際に見るなど、林業の理解を深める授業内容

〔事業名〕 森林E S D出前授業実施業務委託
 〔発注形態等〕 委託
 〔事業費〕 R6：176千円 ※全額譲与税
 R5：264千円 ※全額譲与税
 〔実績〕 R6：2校（袋井南小学校・浅羽東小学校）
 R5：2校（袋井南小学校・浅羽東小学校）

事業スキーム



工夫・留意した点

- 森プロと話す機会といった、教科書では学べない内容を盛り込んだ。
- 授業の振り返りのきっかけになるよう、間伐材で作成した割りばしを配布した。



全員参加型のクイズを行った



森プロの服装を見て学ぶ児童



授業内容はその場で紙にまとめ可視化した

生涯学習の推進

事業の概要

- 自然の中で体を動かすことで子どもの好奇心を刺激し、豊かな心を育むため、わいわい塾自然体験教室を開催
- 町内の小学生を対象に実施

〔事業名〕 生涯学習推進事業

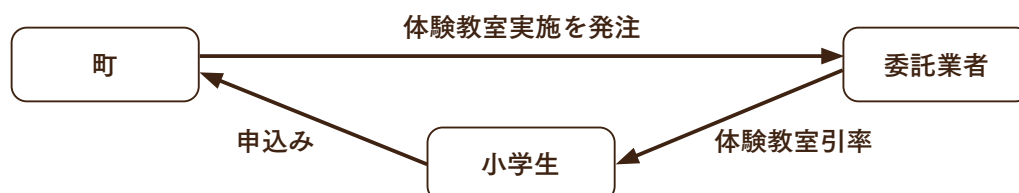
〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 6：1,387 千円 ※全額譲与税

R 5： 317 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 6：樹海洞窟トレッキング 参加人数：12 人
火おこし体験 参加人数：18 人
間伐体験 参加人数：16 人
猟師とトレッキング 参加人数：19 人
R 5：ツリーイング体験 参加人数：13 人
間伐体験 参加人数：11 人

事業スキーム



工夫・留意した点

- 町内や近隣市町で開催し、地域の豊かな自然資源に触れることで地元への愛着心を深めてもらえるよう意識した。
- 森の中での体験と共に森林環境教育を行う事で、森林の役割等を効果的に子ども達に伝えた。



ツリーイング体験



樹海洞窟トレッキング



間伐体験

No35
長泉町

市町の取組

区分：木材利用・普及啓発 普及活動等

実施年度：R 5～R 6

幼稚園・保育園・認定こども園の 年長児を対象にした間伐体験プログラム

事業の概要

- ・町有林の有効活用と森林環境教育の取組として、園外保育の一環で、町有林の間伐現場を園児が見学・体験し、森のプロから町有林の成り立ちや自然の原理、森の育ち方、伐採された木が身近な木製具になる過程などを学び、自然やモノの大切さを知ってもらうことを目的としたプログラム

〔事業名〕 町有林間伐体験プログラム
〔発注形態等〕 委託
〔事業費〕 R 6：537 千円 ※全額譲与税
R 5：450 千円 ※全額譲与税
〔実績〕 R 6：0.35ha
R 5：0.35ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・地元の森林組合（愛鷹山森林組合）と連携し、園児にもわかりやすく説明し、理解を得てもらえるよう、町有林での現地開催とした。
- ・危険防止に配慮し、開催場所の選定を行った。



のこぎり体験



間伐についての説明

森林整備アドバイザーの派遣

事業の概要

- ・市町からの支援要請に応じて、アドバイザーを派遣
- ・主に市町の森林整備の方針や整備内容等について助言
- ・意向調査時に森林所有者説明会に同席して、相談対応
- ・さまざまな課題に対応するため、多様なアドバイザーを登録（令和6年度末時点：40名）

【事業費】 R6：25,003千円 ※全額譲与税 【実績】 R6：アドバイザー派遣 377回



ヒアリングを行い課題解決手法を提案



現場での整備手法等の助言

林業の担い手の確保・育成

事業の概要

- ・市町が地域の実情に応じた森林整備が実施できるよう、新規就業者や森林技術者を広域的に確保、育成
- ・令和6年度は新規就業者を確保するため、就業相談会の開催やインターンシップ等を実施
- ・森林技術者を育成するため、技術レベルにあわせた研修や先端技術の活用研修等を実施

【事業費】 R6：63,986千円 ※全額譲与税

【実績】 R6：林業就業支援サイト「森林（もり）ナビ」の運営

高校生への出前講座（11校236人）、現場見学会の開催（2回30人）

就業相談会の開催（4回146人）、インターンシップの実施（19人）

森林技術者研修の実施（6人）、指導者養成研修の実施（7人）

組織力向上研修の実施（9経営体）、スマート林業講座（5回74人）

など



現場見学会にて伐採現場見学



指導者養成研修にてOJT指導実習

森林環境税と森林づくり県民税

県と市町が役割分担して森林整備を進めています

森林は県土の3分の2を占め、広大な面積を有していることから、県と市町は「森林づくり県民税」と「森林環境税」の2つの税の用途や役割分担を明確にし、車の両輪となり、協力・連携して森林整備に取り組んでいます。

県
財源：森林づくり県民税(県税)
課税額：個人 400円/年 法人 1,000円～40,000円/年 (法人税均等割の税率に5%上乗せ)
使途：荒廃森林の再生(森の力再生事業) ・公益性、困難性が高く、緊急に整備すべき荒廃森林の整備

協力・連携



役割分担

市町
財源：森林環境税(国税)
課税額：令和6年度から課税 個人 1,000円/年
使途：地域の実情に応じた取組 ・森林経営管理制度に基づく森林整備 ・公共施設等における地域の木材の利用 等

※市町が森林所有者から森林の経営管理の委託を受け、林業経営者への再委託や市町自らが管理を行う制度

森林の持つ「森の力」

静岡県は県土の3分の2が森林です。森林には「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの様々な公益的機能(「森の力」と呼んでいます。)があり、その恩恵は県民に広く及ぶ共有財産です。

山崩れ・土砂災害の防止



樹木や地表を覆う落ち葉・下草は、雨による土砂の流出や崩壊を防いでいます。

洪水や渇水の緩和



森林の土壌は、スポンジのようになっていて、雨水を蓄えて時間をかけ川に流します。

いま、森林で起きていること

森林は間伐など適切な手入れを行うことで健全な状態が保たれます。しかし、現在、地形が急峻等の理由により、森林所有者による整備が困難なために荒廃した森林が見られ、そのような森林では、大切な「森の力」が十分発揮されません。

手入れが遅れた人工林



手入れが遅れ暗くなり、下草がない状態

災害にあった森林



台風により被害を受けた状態

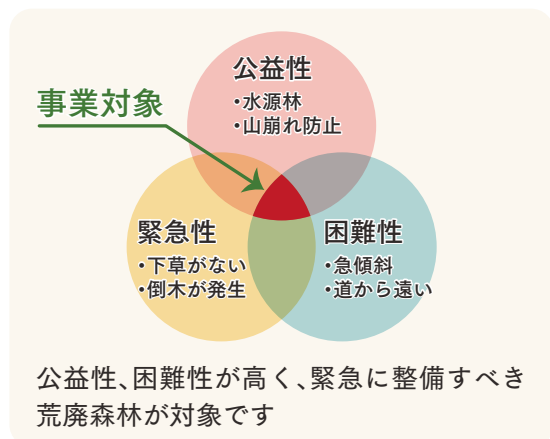
放置された竹林



災害の危険が高く、景観も悪化している状態

「森林づくり県民税」により、荒廃森林の再生を進めています

静岡県では、平成18年度から「森林づくり県民税」を県民のみなさまにご負担いただき、「森の力再生事業」による荒廃した森林の再生を進めています。



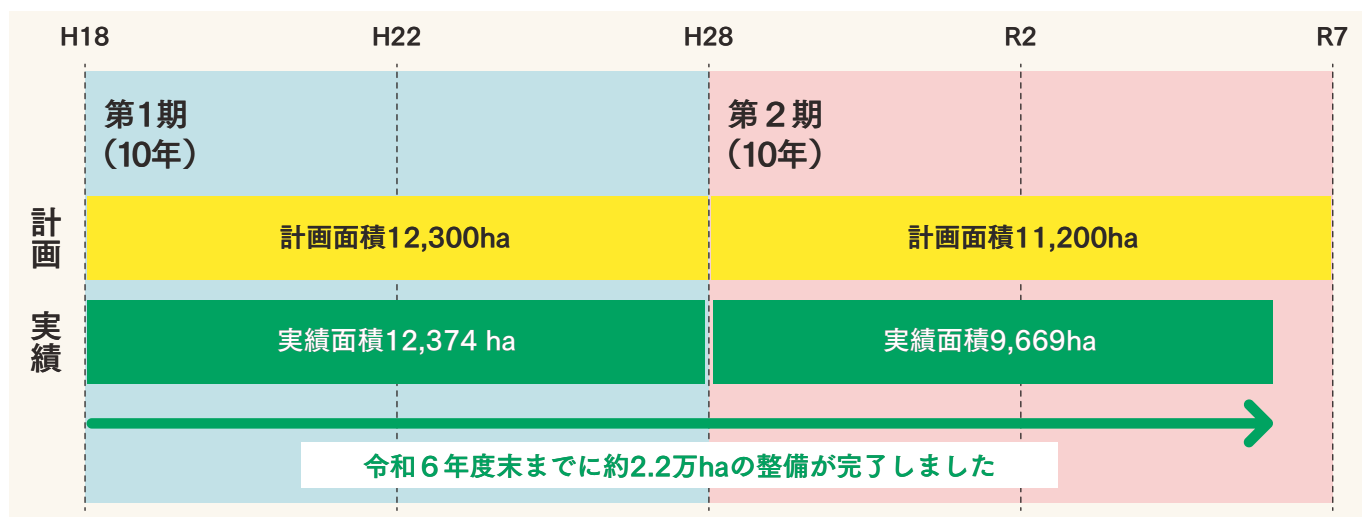
荒廃森林
の再生



伐採して地面に光を当てたことで、下草や木々が芽生えました

森の力再生事業による荒廃森林の整備状況

森の力再生事業による荒廃森林の整備は計画通り進んでいます。
令和6年度末までに、約2.2万ha(浜名湖約3.4個分の面積)の整備が完了しました。



森の力再生事業の成果

整備を行った森林では、林内に光が差し、下草が生え、着実に「森の力」が回復しています。
また、県内各地で「森の力」を実感できるイベントを開催しています。



整備後、「森の力」が回復



森の力を感じるイベント(島田市川根町笹間下)



編集・発行

静岡県経済産業部森林・林業局森林計画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL.054-221-2668 / FAX.054-221-2829

公益社団法人 静岡県山林協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-255-4488 / FAX.054-255-4489



令和7年6月発行